

委員会レポート

総務文教常任委員会で11月18日に、「児童福祉施設及び教育施設における防災対策について」所管事務調査を行いました。

児童福祉施設及び教育施設における防災対策について、現況と課題について調査を実施した。
(1) 児童福祉施設(こどもプラザ)の調査



茂岩保育所避難訓練

ア 防災計画・訓練の実施状況
火災や地震を想定して、有事の際に安全で速やかに避難が完了できるように、年間計画を作成している。

さらに防災訓練は、5月から毎月1回、火災訓練、地震訓練、地震火災訓練と内容を変更しながら実施し、更に5歳児は年1回豊頃消防署にて幼年消防クラブ集合訓練を実施し、延べ年12回の防災訓練を実施している。防災訓練を多く開催することで、理解度の低い低年齢の児童にも体感で理解できるようにしている。

天候や季節を考慮して屋外へ避難可能な場合は園庭を、屋外へ避難することが出来ない場合は体育館をそれぞれ避難先として訓練を実施している。

また、今後、災害時以外の事故等も含め危機的状況が発生した場合、全ての入所児童を保護者に安全かつ確実に引き渡すことを目的とした危機管理マニュアルの作成も検討している。

イ 課題
0歳児及び1歳児等低年齢の児童については、言葉では的確に指示が



豊頃小学校避難訓練

伝わらないため、訓練を繰り返し実施することで体感的に理解をさせていく必要がある一方、繰り返し訓練を実施することで、児童が訓練慣れし、「しゃべる」「走る」などの問題行動が発生する弊害もでてくる。

(2) 教育施設(各小中学校)の調査
ア 防災計画・訓練の実施状況

(ア) 豊頃小学校
火災、地震、不審者侵入等あらゆる災害を想定し、全児童の生命の安全保護を目的とし消防計画を作成している。



大津小学校着衣水泳訓練

訓練は、地震時、不審者侵入時、火災時をそれぞれ想定し、年1回、延べ年3回実施している。避難時には「押さない」「走らない」「しゃべらない」等避難の際の正しい行動や避難の方法などの習慣化を図り、安全で速やかに避難できるように訓練を行っている。また、不審者侵入想定には警察署、火災想定には消防署の指導・協力を受けている。

(イ) 大津小学校
火災その他の非常災害を未然に防止するため、防災管理計画を作成している。

議会日程

- 〔10月〕
 - 20日 十勝議長会主催議員研修
 - 28日 札幌豊頃会
- 〔11月〕
 - 5日 東京豊頃会
 - 15~17日 全国議長大会
 - 18日 総務文教常任委員会(所管事務調査)
- 〔12月〕
 - 2日 議会運営委員会
 - 8日 第4回定例会(1日目)(補正予算、その他)
 - 15日 総務文教常任委員会
 - 15日 第4回定例会(2日目)(一般質問、その他)

◎今後の予定

〔3月上旬〕 第1回定例会

会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記載されています。ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。また、議会だよりの感想もお待ちしております。
TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

防災訓練は、消防署の協力により火災想定訓練、大津地域づくり協議会の協力により地震津波想定訓練をそれぞれ年1回実施、その他に警察署の協力により不審者から身を守るための指導を年2回、海上保安署の協力により着衣水泳を通して、水難事故から身を守る訓練を年1回、延べ年5回実施している。また、避難時には、「押さない」「走らない」「しゃべらない」「もどらない」を励行する様指導している。

(ウ) 豊頃中学校

非常災害の発生に対し、沈着・冷静・迅速な行動と人命の安全を図り、非常時への対応を身につけることを目的に、学校安全計画並びに避難訓練・防災教室実施計画を作成している。

防災訓練は、地震により火災発生を想定した訓練を年1回実施している。避難時には、落ち着いて行動し、教師の指示に従うこと、「押さない、走らない、しゃべらない」の指導を徹底している。訓練以外に、防災教育講演会を年1



豊頃中学校防災教育講演会

回実施している。
以上のとおり各学校とも防災管理計画等を作成して、消防署、警察署の指導を受けて、年数回火災、地震・津波、不審者侵入を想定した各種訓練を実施している。

イ 課題

児童生徒が登校している時間帯の地震、津波等自然災害発生時においては、保護者も避難施設に避難している可能性が高く、通常の連絡方法では、情報の伝達が困難になると予想されることから、児童生徒の避難や安否状況を学校から保護者に対する的確、かつ迅速に連絡できる体制の整備が必要である。

(3) まとめ

調査した児童福祉施設(こどもプラザ)及び教育施設(各小中学校)とも、防災計画が整備され、防災訓練、施設内外の防災機器点検も適切に実施されている。また各学校における防災訓練の実施回数は異なるが、大津小学校での地域づくり協議会や海上保安署などの協力による「津波」を想定した訓練や「着衣水泳体験」など、地域特性を取り入れた訓練を実施するなどの特徴がみられた。

また、委員から

ア 訓練は各施設内で完了していることから、災害対策本部との連携や保護者等との連絡体制などの点についても防災計画の中に明記

イ 児童福祉施設において、2階から避難する際の階段の手すりの改善
ウ 各施設は、地域住民の避難施設でもあることから、町職員、教職員の防災に対する研修が必要
などの意見が出された。